

JJAP 特集号への投稿のお誘い

2009 年国際固体素子・材料コンファレンス(SSDM 2009)において発表される論文は、引き続き Japanese Journal of Applied Physics (JJAP)の SSDM 2009 特集号 (2010 年 4 号) に投稿することができます。研究成果をより広く周知していただくためにも、貴論文を Full Paper として特集号に投稿されることをお勧めします。なお、会議に採択された論文でも、発表されなかった論文は取り消しと見なされ特集号の対象にはなりません。

御投稿に際しましては、下記投稿に関する注意をお読みにになり、JJAP 投稿規定に沿って投稿下さるようお願いいたします。(招待論文の方については、オリジナルな部分に関しての投稿となります。)

JJAP 特集号への投稿締切は10月6日(火)です。

JJAP Part 1 特集号に御投稿される場合のスケジュールは下記のようになります。

10月6日-9日 ●2009年国際固体素子・材料コンファレンス (SSDM 2009)

10月6日 ●特集号への投稿締切 (JJAP 編集部)

2010年

4月30日 ●特集号(4号)発行

SSDM 2009 発表論文の JJAP特集号への投稿に関するご注意とお願い

- ① JJAP 特集号に投稿する論文は、SSDM 2009 Extended Abstract と全く同一のものではないようにして下さい。内容は、データや記述の追加、より詳細な議論の展開などが含まれた、オリジナルなものを求めます。なお、採択された論文でも、会議で発表されなかった論文は取り消しと見なされ、特集号の対象にはなりません。
- ② 特集号に投稿された論文は、JJAP の通常の閲読手続を経て採否が決定されます。投稿された論文がすべて掲載許可となるわけではありません。
- ③ 特集号へ投稿された論文が、閲読者との討論やそれに基づく修正などにより、閲読後の最終原稿の締切を過ぎた場合は、原則特集号に収録されませんのでご注意下さい。(なお本年の特別な措置として事情によっては次号以降掲載の通常論文となる場合があります。2010年以降は閲読打ち切り、通常論文として再投稿となる可能性がありますので、ご注意ください。)
- ④ 招待論文の場合は、その内容のオリジナルな部分について投稿を歓迎します。その場合にも、上記①-③項が適用されます。
- ⑤ 掲載料(別刷り代)や投稿手続は、JJAP の投稿規定に従っていただきます。
- ⑥ 原稿作成にあたっては下記 URL を必ずご一読ください。
<http://jjap.ipap.jp/special/index.html>
投稿は下記 URL からお願いします。
<http://jjap.ipap.jp/special/ESubmissionSIssue.html>
投稿にはユーザ登録が必要です。Web 以外から投稿された原稿は受付られません。
- ⑦ JJAP の発行元である IPAP の調査で、同分野の著名な論文誌、例えば J. Appl. Phys. に比べ JJAP では reference の数が少ないことが判明しています。J. Appl. Phys. の平均 reference 数は約 25 です。論文執筆の際には、著者自身の既発表論文と関連論文をできるだけ多く引用し、他の論文との違いを明確にしてください。結果的には、それが論文の価値を高めることとなります。

SSDM 2009 JJAP 特集号編集委員長
芝原 健太郎
SSDM 2009 論文委員長
和田 一実